

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和3年度
------	-------

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立清新デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人智泉会
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に関与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地：相模原市中央区清新5-3-1 清新住宅1階 延床面積：425.21㎡（機械室除く） 主な施設：機能訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、地域交流スペース 構造：鉄筋コンクリート造 開所時間：午前8時30分から午後5時まで 休所日：日曜日、土曜日及び12月30日から1月3日まで 定員数：27名
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計（人）	6,384	6,523	6,450	6,123	6,215	5,518	5,635
介護報酬等収入（円）			55,482,765	51,956,952	51,644,678	46,477,218	47,737,603
利用者負担金等収入（円）			10,476,202	10,072,348	10,501,763	10,180,441	10,764,730
収入総額（円）	66,109,208	66,799,972	65,959,629	62,053,166	62,355,444	68,443,389	63,746,375
支出総額（円）			60,668,934	57,744,030	79,138,905	62,836,988	66,335,269

## 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>C</b>	・成果指標の達成度は89.4%であり、評価基準により「C」と評価した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、昨年度から利用率が上昇している。次年度においては、達成度が90.0%以上になることを目指して取り組んでいただきたい。

指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数÷（1年間の営業日数×利用者定員数） ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位：%）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	100.0	100.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（利用率）	91.6	93.6	93.3	88.6	89.6	79.2	80.9
達成度	91.6	93.6	98.2	93.3	99.0	87.5	89.4

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になります。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となってしまいます。令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整しています。

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施状況の達成度は100.0%であり、評価基準により「A」と評価した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、感染症対策を講じ、昨年度から実施事業数を増やしている点は評価できる。</li> <li>・初詣においては、絵馬づくりに挑戦するなどただ中止とするのではなく、代替策を検討している点は評価できる。</li> <li>・季節を感じられる事業が多く、「季節の移り変わりを実感したり、過去の思い出を振り返る」などの効果が期待できるので、評価できる。</li> </ul>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
—	—	—	

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
お花見(桜)	4月1日	コロナ禍であり車内の感染防止対策をし、車窓から鹿沼公園・市役所通りの桜並木を見学。利用者17名参加。	○
七夕飾り	7月1～7日	利用者それぞれの願いや想いを短冊に込め記入。玄関ホールに飾り楽しみました。利用者102名参加。	○
夏祭り	8月16～20日	縁日に見立て、金魚すくい・的当てゲーム・ヨーヨー釣り等を楽しみ、きよしのズンドコ節体操で終了。利用者それぞれに合うプレゼントの実施。毎日一名の方に職員との集合写真を盾に入れプレゼント。利用者105名参加。	○
清新大運動会	10月11～15日	昔懐かしい演目(缶釣り・綱引き・玉入れ等)を赤・白組に分かれチーム戦をしました。皆さん真剣なまなざしで参加され、いつものレクリエーション以上の盛り上がりでした。利用者142名参加。	○
フラワーアレンジメント	11月29日～12月3日	松ぼっくりリース作り、様々な飾り付けを楽しみ、皆さん自慢そうに自宅に持ち帰りました。(松ぼっくりは職員が色々な場所で拾って来た物を電子レンジで殺菌し使用)利用者48名参加。	○
クリスマス会	12月20～24日	利用者参加型ゲームと職員の出し物(どじょうすくい)で利用者も大爆笑！全利用者へ靴下のプレゼント実施。利用者113名、ご家族2名参加。	○
初詣	1月10～14日	コロナ禍で外出は中止したが、絵馬作りに挑戦。清新神社に奉納。利用者52名参加。	○
節分豆まき	2月2日	職員が赤鬼・青鬼に扮し、利用者からの豆に退治される。食べないでとお願いするも、何人かが食べてしまい職員が対応。利用者15名参加。	○
河津桜見学	3月30、31日	コロナ禍であり車内の感染防止対策をし、車窓から鹿沼公園・市役所通りの桜並木を見学した。計2回、利用者46名参加。	○
季節湯 (①節句・菖蒲湯②冬至・ゆず湯)	①5月5日 ②12月22日	①無病息災を願い、特浴・一般浴を菖蒲湯にしました。利用者15名入浴。 ②地域の方から頂いたゆずと夏みかんを湯舟に浮かべ楽しんでいただきました。指で潰して香りを楽しむ方。食べたいとおしゃる方もおられました。特浴・一般浴で実施。利用者18名入浴。	○

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
—	—	—	

※施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民が参加できる多世代間交流や地域活動の促進に繋がる事業については、広がりのある取組として評価し「◎」と評価する。

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の満足度の達成度は100.0%であり、評価基準により「A」と評価した。</li> <li>・達成度が昨年度から上昇している点、アンケートの評価領域③職員の対応、④事業所の体制が昨年度を上回っている点は評価できる。</li> </ul>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会に委託した無記名アンケートを期間中に利用実績のある利用者40人に配布し、回収は37人(回収率92.5%)。実績値(満足度)はアンケートによる事業所の総合評価点(実施日:令和3年9月24日)
目標値の基準	令和2年度に実施した本市の高齢者等実態調査における、デイサービスを含む居宅介護サービスへの満足度の設問に対する「満足」、「おおむね満足」の合計の割合

項目（単位：％）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	77.0	89.8	89.8	89.8	89.8	89.1	89.1
実績値（満足度）	89.8	93.8	91.8	92.2	86.0	87.5	89.1
達成度	116.6	104.5	102.2	102.7	95.8	98.2	100.0

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	利用者・ご家族・訪問者からの意見を常時募集。玄関に設置。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営状況に若干の懸念があり、施設の全体収支、事業収支ともに支出が収入を上回っているため、評価基準により「C」と評価した。</li> <li>・市立施設として、拠点区分間における収支が全体収支に大きく影響しないよう検討していただきたい。</li> </ul>

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)		62,356	56,740	59,532
介護報酬等		51,645	46,477	47,738
利用者負担金等		10,502	10,180	10,765
その他		209	83	1,029
支出 (b)		58,788	61,062	62,217
人件費		36,485	38,000	38,456
事業費		8,842	8,388	8,814
事務費		13,461	14,674	14,947
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		3,568	-4,322	-2,685
自主事業収入 (d)		0	0	0
自主事業支出 (e)		0	0	0
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0
事業活動収支 [(c)+(f)] (g)		3,568	-4,322	-2,685
施設整備等収入 (h)		0	1,403	4,216
施設整備等支出 (i)		0	1,775	4,118
施設整備等収支 [(h)+(i)] (j)		0	-372	98
その他収入 (k)		0	10,300	0
その他支出 (l)		20,350	0	0
その他収支 [(h)+(i)] (m)		-20,350	10,300	0
全体収支 [(g)+(j)+(m)] (n)		-16,782	5,606	-2,587
備考	▽前年度との比較 ・事業活動収支の増は利用者数増、経常寄付金増によるもの。 ・施設整備等収入増は寄付金、支出増は送迎車両購入によるもの。 ・その他収入の大幅な減は拠点区分間における収入が無かったことによるもの。 ▽コロナ対策事業補助金 ・収入(その他)に449,460円、施設整備等収入に115,500円含まれます。			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。			

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和4年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

・新型コロナウイルス感染症が蔓延して2年目、予防接種が始まり利用者さんの予約を取ったり、職員も職場での接種であったり、消毒を含め来所時の検温等利用者の体調管理に留意する、まさしくコロナとの戦いの一年でした。市は95%の稼働率を求めています、残念ながら81%にとどまっています。来期に向けケアマネに情報発信をし新規獲得にも力を入れていきたいと思えます。

・ホームページは他事業所と比べ劣っていると反省しています。本来ならばホームページ上で日々のデイサービスの様子を発信出来ればよい。

・企画提案事業に関しては、コロナ禍ではありますが、感染防止対策をしっかり行いながら提供出来ました。

・施設維持管理については、開設より25年以上が過ぎ、少しずつ故障することもあります、業者に依頼し対応しました。

## 10 所管課意見

・昨年度に実施できなかった介護体験、ボランティアの受け入れを感染症対策を徹底した上で再開したことは評価できる。小中学生の介護体験生受け入れや地域の保育園児との交流なども再開を検討していただきたい。

・初詣を絵馬づくり体験として実施したように今後も工夫した取組を実施していただきたい。

・利用者満足度調査において、評価領域①利用者への説明が下回っている点については、真摯に受け止め、今後の利用者確保に向け改善に取り組んでいただきたい。

## 11 選考委員会意見

・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、昨年度に引き続きデイサービスの運営は苦労した1年だったと考える。利用者の健康維持、安全を確保しながら施設運営を継続していただいたことには感謝したい。

・このような状況の中、利用者が増加していることや感染防止対策を実施した上で事業の実施数を以前のレベルまで戻していることについては評価できる。

・利用者満足度調査については、昨年度と同じ配布枚数となっていることから、利用者全体に対して実施されることを改めて検討していただきたい。

・昨年度指摘した事業報告書の記載内容については、事業計画書に対して(結果)として記載されており、改善されていることが確認できた。今後はアンケートBOXへの意見数や反映状況等の記載もお願いしたい。

・HPのウェブアクセシビリティの積極的な取組をお願いしたい。

・職員への研修を毎月実施しており、人材育成について評価できる。今後、研修内容に、社会福祉法の改正に伴い「地域共生社会」、「包括的支援体制の構築」なども加えることを検討していただきたい。

### 総合評価（自動判定）

**B**

(55/100)

